

## 第2回住宅団地活性化研究会開催結果

### 1 日時

平成25年7月26日（金）13:00～17:00

### 2 出席者氏名（敬称略）

金谷信子、間野博、三浦浩之、澤田俊子、林裕、吉村栄夫、今田正志、古森公人、鈴川千賀子、竹内賢治、西川雅己、榎田繁 <塚井誠人委員は所用により欠席>

### 3 内容

住宅団地の活性化に関する取組の現地視察

#### <行程>

##### (1) 視察先の概要説明

- ・やぐちおもいやりタクシーについて
- ・生協ひろしま移動店舗について
- ・ゆうやけルーム高陽について

##### (2) やぐちおもいやりタクシー

##### (3) 生協ひろしまが主催する移動店舗

##### (4) 高陽ニュータウンまちづくり市民会議が主催する放課後の子ども預かり施設「ゆうやけルーム高陽」

### 4 視察の様子

#### (1) 視察先の概要説明 [口田公民館]

(13:40～14:30)

視察する取組について、各関係者から概要を説明し、その後、質疑応答を行った。



#### <やぐちおもいやりタクシーについて>

資料1に沿って、上矢口町内会長 越智兼光氏、やぐちタクシー代表取締役 大畑直樹氏から、やぐちおもいやりタクシーの概要、取組の経緯、利用状況等について説明

#### **主な説明内容**

- ・ やぐちおもいやりタクシーは、ふじランド・上矢口地区を循環運行する乗合タクシーで、急な坂道が多く、住民の高齢化が進んでいるにもかかわらず、路線バスの乗り入れがない地域の生活交通を何とか自分たちの手で確保しようと地元が中心になって取り組み、やぐちタクシーの協力を得て、平成15年8月から運行を開始したものである。

- ・ 住民からの反応は、交通の便が良くなったと評判は良いが、利用者は少ない。

### 主な質疑応答

- ・ 運行に係る収支は黒字になっているのか。

⇒ 赤字が続いており、赤字部分はやぐちタクシーが補てんしている状況にある。車両の維持や更新に係る経費はともかくとして、運行のみの部分が黒字にならないまでも、赤字が出ないようにないかと思っている。

今後、曜日によって便数を相互に調整するなど、利用者をシェアし、協力し合える会社や企業が出てきていただければ大変良いと思っている。

やぐちおもいやりタクシーの運行は、当初、町内会の方々が非常に熱心に取り組み、その方々の熱意を感じて協力することにした。利用者の声を聞くと、今後も続けていかなければいけないと考えている。

- ・ 利用者の実績が平成 20 年あたりから減少する傾向にあるが、何か要因はあるのか。
- ⇒ 便数を減らしたことや、昨年から土曜日の運行をカットしたことが要因にあると思う。また、特に運行に関する宣伝をしていないので、そういったところにも要因があるように思う。

- ・ やぐちおもいやりタクシーを利用される対象人口はどれくらいか。
- ⇒ 上矢口の 260 世帯、ふじランドの 452 世帯、梅園団地の 200 世帯あたりが使われていると思う。一番よく使われるのが、ふじランドの方々である。

運行に係る採算がとれるよう、町内会の会合において、おもいやりタクシーを使ってもらいをお願いをしている。今のまま赤字を続けるというわけにはいかないの、スポンサーを探すとか、解決に向けて考えていかなければならない。

### <生協ひろしま移動店舗について>

資料 2 に沿って、生協ひろしま事業企画部新規事業グループ統括課長 中本毅氏から、生協ひろしま移動店舗の概要、取組の経緯、利用状況等について説明

### 主な説明内容

- ・ 生協ひろしまの移動店舗は、①買い物に不自由している高齢者の方へ対応すること ②子育てをされている方などが、その地域に安心して住み続けられる地域づくりへ貢献すること ③近所の皆さんが定期的集まれる身近なコミュニティの場づくりに貢献すること の 3 つを目的として、平成 24 年の 4 月から佐伯区、安佐南区の一部、西区の一部を販売ポイントとして、1 号車の運営を開始した。
- ・ 2 号車目は、平成 24 年 11 月から、安佐南区、安佐北区、東区の一部、安芸高田市の一部で運営を開始した。また、平成 25 年 8 月後半からは、佐伯区、廿日市市を中心としたエリアで 3 号車をスタートし、さらに同年の 11 月の末には、安佐南区、安佐北区を中心としたエリアに 1 台増車する予定になっている。
- ・ 移動店舗は決して楽な事業ではなく、10 年間を目途に採算がとれるように目標を設定している。この取組は、事業というよりも、生協の理念に基づいて、買い物に不自由な方々にいかに貢献できる

かということを第1の目標に置いている。厳しい事業ではあるが、未長く続けていきたいと考えている。

#### **主な質疑応答**

- ・ 五月が丘団地のことになるが、団地内にあるスーパーの宅配サービスと競合しないのか。  
⇒ 生協では、移動店舗以外に共同購入という事業があり、五月が丘でみれば50%以上が生協の組合員で御利用いただいている。つまり、五月が丘では、スーパー、スーパーの宅配サービス、生協の移動店舗、生協の共同購入といろいろなものが展開されている。  
しかし、共同購入はカタログを見ないと注文できないことや、生鮮品の扱いが無いという弱点がある。また、移動店舗では1週間に1回しか訪問できていない。  
買い物の使い勝手は、利用者の方が決められるので、いろいろな良いサービスを選んで御利用いただければと思う。移動店舗はその選択肢を一つ増やしているものと思っている。
- ・ スーパーやスーパーの宅配サービスがあり、共同購入の生協の組合員もかなりいる中で、さらに移動販売も成り立つということが、きちんとできるようになるのであれば、これは一つのモデルケースになると思う。

#### **<ゆうやけルーム高陽について>**

資料3に沿って、亀崎自治連合会会長 吉村栄夫氏から、ゆうやけルーム高陽の概要、開設に至った経緯、利用状況等について説明

#### **主な説明内容**

- ・ 高陽ニュータウンは、分譲開始から約40年経過し、高齢化と人口減少が進んでおり、団地の活力が失われつつある。この事態を食い止め、団地を活性化していくためには、大前提として若い人たちに住んでもらうことが必要と考えた。  
このため、「若い人が高陽ニュータウンに住むにあたって何が困るのか」という発想のもと、即実行できることはないかと考えた結果、放課後の子どもの見守りを実施することになり、平成25年1月から「ゆうやけルーム高陽」を開設した。
- ・ 「ゆうやけルーム高陽」の実施時間以外の時間帯を利用して、洋裁教室や手芸教室などを実施し、その受講料などによって運営資金の確保に努めているが、赤字が生じている状況である。
- ・ この施設の一番の目的は、お年寄りの生きがいづくりと同時に、安心できる子育ての環境づくりである。高陽ニュータウンに住めば、若い時からお年寄りになるまでずっと安心して暮らせるとしてもらえるようになることを大きな目的として実施している。

(2) やぐちおもいやりタクシー [Let's 口田南店前]

(14 : 40~15 : 20)



原注:

レッツ前 Let's-me のりば(乗合)	
時刻表	時刻表
8:00	12:45
8:30	13:15
9:30	14:15
10:00	14:45
11:00	15:45
11:30	16:15

運行日/月~金(祝・祭日 除く)

※フリー乗降区間、バスラッシュ時間帯は、15分前到着が必要です。  
※乗車/降車時、200円以上の現金を必ずお持ちください。  
※現金以外のクレジットカード、電子マネーはご利用できません。  
※乗車料金は、バスラッシュ時間帯を除き、乗車1人1回100円です。

15時

Let's 口田南店前に到着した  
やぐちおもいやりタクシー



研究会委員が実際の車両に乗車し、運  
行ルートを視察

(定員の関係上、乗車できなかった委  
員は、視察車両に乗車して運行ルー  
トを視察)



<住宅団地を徒歩で視察しながら、次  
の視察地点(ふじランド第一公園付近)  
まで移動>

(15 : 20~15 : 35)

- (3) 生協ひろしまが主催する移動店舗 [ふじランド第一公園付近]  
(15 : 35~16 : 00)



ふじランド第一公園付近に到着した  
生協ひろしま移動店舗



移動店舗内を視察

- (4) 高陽ニュータウンまちづくり市民会議が主催する放課後の子ども預かり施設「ゆうやけルーム高陽」  
[高陽ニュータウンA地区高陽タウンセンタービル]  
(16 : 10~16 : 30)



「ゆうやけルーム高陽」内を視察

